

こんな玉川知らんかった

た
ま
が
わ



玉川地域活性化推進協議会

「玉川町には何もない」って誰かが言っていた。

こんなにも自然があり、こんなにも歴史があることをみんな知らない。

かつて、玉川町は鴨部村、鈍川村、龍岡村、九和村の4つの村だった。

さらに明治22年の合併前は、【鴨部村】は烟寺・高野・中村・別所・小鴨部・八幡の6村、【鈍川村】は鈍川・鬼原・木地の3村、【龍岡村】は龍岡上・龍岡下・葛谷の3村、【九和村】は法界寺・大野・三反地・摺木・与和木・鍋地・桂・御厩・長谷の9村だった。昭和29年にこれら4つの村が合併し、玉川村となつた。昭和37年町制施行で玉川町となつた。さらに今は今治市になっている。しかし、玉川町は玉川町であるし4つの村は4つの村であり、全21の村それぞれに歴史があり、文化がある。玉川町をくま無く歩くとそのことがよくわかる。

この冊子によつてみなさんに玉川をより知つてもいい、玉川を愛し、玉川の各地域を巡つていただければと願う。

八幡部	
① 榮福寺	6
② 石清水八幡神社	6
③ 犬塚池	6
④ 武田屋八幡饅頭	6
⑤ 仙遊寺	6
⑥ ごろべえ坂	6
⑦ 八将	7
⑧ 白鳥神社	7
⑨ 熊野神社	7
⑩ 蒼社川の桜	8
⑪ あ庵	8
⑫ 鳴御門神社	8
⑬ 豊中神社	9
⑭ 医王寺	9
⑮ 弘坊さん	9
⑯ 蓮明寺	9

17	いぼ地蔵	・
18	木工館	・
19	陶芸の里	・
20	川志	・
21	光林寺	・
22	白山神社	・
23	けたの池と白ヘビ	・
24	郷の元板碑	・
25	風泥舎	・
26	落合橋	・
27	倉社川と玉川の合流地点	・
28	五人衆さん	・
29	はなかげさん	・
30	工房織座	・
31	せせらぎ交流館	・
大 おお	鬼 おに	【鈍川】 じんかわ
下 しも	原 ばら	
16	15	15
15	15	14
14	14	13
12	12	12
11	11	11
10	10	10
10	10	10

32	鈍川発電所 本館
33	温泉スタンド
34	薰林庵
35	鈍川温泉
36	美賀登
37	門田旅館
38	鈍川温泉ホテル
39	カドヤ別荘
40	皆楽莊
41	鈍川渓谷
42	森林館
43	水源の森
44	鈍川発電所取水堰
45	樺原山
46	園室伊予國奈良原山縄縄出土品
47	樺原山の子持杉
48	千疋峠

51	観音臺・越智駿河守の墓	22	50	鷹ヶ森城跡	22	49	門岡養魚場	21
52	蛇淵	22	53	四十九山	23	54	浄土寺	23
55	鈍川小学校跡 二宮金次郎像	23	56	ふれ愛茶屋	23	57	観子妃と皇子の墓	23
58	王子神社	24	59	奈良ノ木の貧乏神	24	60	玉川	25
61	孝行者のこまさん	25	62	あなぐらさん	25	63	幸門城跡	26
64	鈍川MAP	26	65	龍岡	26	66	鍛冶屋妙見前	27

中
村

小川・葛谷

65	隠れキリストン碑?	27
66	馬頭観音	27
67	天神社	28
68	玉川ダム周辺の桜	28
69	玉川湖畔の里	28
70	小川の五輪塔	28
71	榎の大木と道祖神	28
72	無線中継所	28
73	へんど墓	27
74	服藤家の柿の木	27
75	石折神社	27
76	旧中村橋	31
77	龍岡寺	31
78	お塚さん	30
79	隠れキリストン碑?	30
80	神風特攻機の墜落の碑	30

木地

力石・木地

桂	鍋地・桂	地じ
(113) 三嶋神社	(114) 開中塚大権現	(115) 宝林寺
(116) 四良神社	(117) 蛍の里	(118) お釈迦さん
(119) 釈迦堂の森	(120) お不動さん	(121) 釈迦ヶ岳の宝篋印塔と蓬莱さん
(122) 釈迦堂参道の丁石	(123) 桂木神社	(124) 天満神社
(125) 宝蔵寺	(126) お釈迦さんと花まつり	(127) だまされたなにわ節言い
(128) 御厩の棚田	(129) 天満神社	

長谷

(130) 長谷発電所跡	46
(131) 三島神社	46
(132) 大師堂	47
(133) 地藏堂	47
(134) 七曲薬師 <small>ななまきやくし</small>	47
(135) 嶩島さん・五輪塔	47
(136) 観音堂	47
(137) 玉川ダム下	47
(138) 森の炭工房	48
(139) サン・カフエ	48
(140) カフエ・マグノリア	48
九和MAP	49
全体MAP	50

【鴨部八幡】



足の不自由な15歳の少年遍路さんが、栄福寺にお参りした際に犬に引っ張られ転倒。その後に足が治癒したという。その時奉納されたのがこの「箱車」。



四国霊場57番札所・
府頭山無量寿院栄福寺。本尊は阿弥陀如來。嵯峨天皇の勅によつて、弘仁年間（810～824）に弘法大師によって開基された。大師は、瀬戸内海の海難事故の平易を祈つて、府頭山の山頂で護摩供を修法され、その満願の日に、風波はおさまり、海上には阿弥陀如来が現れ、それを納めた堂宇を建立したと伝わる。寺には寛政12年（1800）の古い納帳が残されており、そこには、「八幡宮別当栄福寺」と記されている。

明治元年の神仏分離令により、現在の地に移転独立した。

電話
0898-552432
〒794-0114
愛媛県今治市玉川町八



犬塚池樋門（昭和13年4月竣工）



樋門のそばにある犬塚



池に落ちて死んだ犬の伝説が紙芝居になっている。

③犬塚池



石清水八幡神社は貞觀元年（859）、大安寺の行教上人が、大分の宇佐八幡宮から京都石清水八幡宮へ勧請する際に、道前に八社道後に八社勧請されたうちの一社。この場所に移され、石清水八幡神社になつたのは永承年中（1050）ころ。昔は伊豫国第一の大社で、四村、郷、鳥生にも鳥居が建てられていた。

②石清水八幡神社

犬塚池は寛政7年（1795）に着工、23年後の文化14年（1817）に竣工した。昭和9年大干ばつにあつたことをうけて、昭和10年3月から12年10月にかけて大修築を行つた。それにより3倍の貯水量となつた。



蒸しあがったばかりの八幡饅頭はまた格別のおいしさ。
朝早く行くと食べられるかも。

営業時間 8時～19時

愛媛県今治市玉川町八幡319-2
電話 0898-553403
FAX 0898-554512
定休日 無休



④武田屋八幡饅頭

江戸時代が終わり職を失つた武士達によつてこの地方一帯で作られるようになり、大変な評判を得ていた。現在はこの武田屋さんだけ製造販売している。黒糖の風味と硬くならない生地が大人気のお饅頭。

【鴨部】別所

山頂にある
五輪塔

⑤仙遊寺



正面に本堂を見る。右に鐘楼、左に大師堂がある。



作礼山からは、麓に犬塚池、今治市街、遠くしまなみ海道を望むことができる。

仙遊寺の寺名は、阿坊仙人という僧が40年にわたり籠り、七堂伽藍を整えるなどしたが、ある日忽然と雲と遊ぶかのように姿を消してしまったといふ伝説から由来している。

また弘法大師が掘った「お加持の井戸」は、多くの諸病を救つたといわれていて今も水をたたえている。

四国霊場第58番札所作礼山千光院仙遊寺。本尊は千手觀世音菩薩。高野山真言宗で年間20万人以上の参拜者がある。創建は天智天皇(在位662~672)の勅願による。本尊は、海から上がりついた竜女が一刀三礼しながら廻つて安置したとされ、このことから作礼山が山号となつた。



紙芝居になっている。

人の五輪塔、山頂近くには、天智天皇を供養したと言われる五輪塔があり、鎌倉時代のものとされています。

愛媛県今治市玉川町別所甲483
電話0898-552141

仙遊寺の参道に「ごろべえ坂」といいう急坂がある。漁師のごろべえが仙遊寺の大太鼓の音で魚が逃げてしまい、漁ができないと怒り、太鼓を包丁で破つた。その帰りにこの急坂で転び、その怪我がもとで死んでしまつたという民話が残つている。この坂を下るときは気をつけるようにと言わわれている。



中腹にある山門の仁王像

⑦八将



〒794-0113
愛媛県今治市玉川町別所93-1
電話0898-55-2123
定休日 水曜日
営業時間 11時~21時半

地物の新鮮なねたを中心にしてにぎりが自慢の、気軽に入ることができるお寿司屋さん。その他天ぷらや煮物なども安くておいしい。
宴会の料理も予算に応じて対応してもらえた。

【鴨部】小鴨部



多くの大木に覆われた白鳥神社



紙芝居になっている。

小鴨部にはかつて大きな沼があり、たくさんの鴨が飛来していた。地元のある獵師が、弓の練習をし、鴨を仕留められるようになり、毎日のように鴨を獲った。ある日1本の矢で2羽の鴨を射落としたところ、それは白い鴨だった。獵師は白い鴨を村人達に自慢していたが、翌日急に体の調子が悪くなり死んでしまった。

白鳥神社は、その白い鴨を祀った神社。

⑧白鳥神社



⑩蒼社川の桜



アオバズクのつがい

今治から玉川町にさしかかる辺りの蒼社川の土手には多くの桜の木がある。玉川ダム、嵯峨子城跡、そしてこの蒼社川の桜が玉川での見所。また、菜の花も同時に見ることができる。花見シーズンでもそれほど多くの花見客がなく、穴場的な場所。交通量が少ないため、元の人たちのウォーキングコースにもなっている。

⑨熊野神社



正式には熊野新宮神社。

多くの古木が残っていて、毎年春にアオバズクがやってくる。夫婦で仲良く子育てをして、秋に南へ飛んでいく。大木の木の洞に巣を作れる。春から夏、樹上をよく観察していると見ることができる。



愛媛県今治市玉川町小鴨部甲144-4
電話089836-8080
定休日 水曜日
営業時間 11時～22時

⑪あ庵

本格的な蕎麦のお店。臼臼で挽いた蕎麦粉を、お店で打つ。その日の打ちたての蕎麦を素早く茹で上げる。やはり、本当の蕎麦のおいしさを味わうには、まずせいろ蕎麦。もちろん、定食や、コース料理も充実している。

【鴨部】 中村



春の大祭は大変にぎやかで、嶋御門神社から鴨部小学校のお旅所そして豫中神社へとお神輿と獅子が舞う。嶋御門神社は、平家が滅びた年の1185年に河野氏(河野通信)によって三島の神を迎えて創建されたと伝わる。アカガシをはじめ多くの大木がある。

豫中神社も、河野通信によって名づけられたと言われている。社殿の周囲には、クスノキやイチョウの大木がある。最も大きなイチョウの木の切り株が残っている。すぐそばにある龍田神社は風の神様。9月に台風を鎮め、豊作を祈るお祭りが行われる。



⑫ 嶋御門神社

⑬ 豫中神社



嶋御門神社 うつそうとした鎮守の森となっている。



豫中神社 イチョウの大木があった。



⑮ 弘坊さん（重利大明神）

嶋御門神社のすぐ近くにお堂があり、高さ70cm程の立派な一石五輪塔(一つの石柱に五輪塔を刻んだもの)で、室町後期から江戸時代初期に造られたものが祀られている。



タヌキ伝説は紙芝居になっている。

このあたりに住んでいた、3匹のタヌキの伝説が残っている。いたずらをしたり、人にとりついたりと悪さをしていたタヌキが改心し、今も村を守ってくれている。

⑯ 医王寺

宝幢山薬師院。

大変きれいに掃除が

行き届いた静閑なお寺。本尊は薬師如

来。清和天皇の時代(858~876)

に伊予の国司河野氏(河野深躬)の命

により、宥徳上人が開山した。河野氏

と深い関係があり、当初は、北条の高縄

寺が本寺だった。戦国時代、河野氏の侍

大将で幸門城最後の城主だった正岡右

近太夫経政公とその枝城であった中村

の米田城主別宮修理太夫光貞の墓と

伝えられている高さ約2mの立派な

五輪塔が2基ある。



【鴨部】 高野

⑯蓮明寺

江戸時代中期、光林寺の高僧・光範上人が隠居して入寂したところ。

光範上人は、雨乞祈祷で雨を降らせたことにより、今治藩主より感謝状をもらっている。寺の裏手には光範上人のお墓があり、入寂した安永7年(1778)2月と刻まれている。その周囲には、カクレミノとモッコクの大木があり、一石五輪塔や江戸時代のお墓など多くの石造物が残されている。



草に
からまれた
一石五輪塔



モッコクの大木



光範上人の墓



薬師堂

⑰いぼ地蔵

天満神社の前の道と鬼原道の三叉路にあり、大きな看板を立ててあるのですぐにわかる。

お地蔵さんの台には三界万靈という文字が刻まれている。前に手水鉢のような窪んだ石があり、そこを洗い、きれいな水を入れ、それでいぼを清め、シキジの切り口にその水をつけていぼに塗る。さらに、祈願した際の線香の灰をつけるといぼやできものがとれると言われている。

お地蔵さんにかけられた
よだれかけや帽子は、
いぼが治ったお礼。



⑯木工館

月1回の木工講座を開いています。会員30余名が、原木の味を引き出す工夫、会得した木彫技法や使い易い刃物づくりの向上を図りながら、好みの作品づくりに努め、ものづくりの努力が根柢となり、人生を楽しみ、生きがいを高める一助として励んでいます。



会員は、15名程。班ごとに(3班)随時集まっています。陶芸を楽しんでいます。作品は、毎年秋に開催される町のふれ愛まつりで展示や即売もしている。

⑯陶芸の里



カウンター席と座敷がある。
冬はあんこう鍋もできる。



カウンター席と座敷がある。
冬はあんこう鍋もできる。

⑰川志

日本料理のお店。お昼は定食があり、驚くほどの大盛で、地元の人たちに大人気。夜は居酒屋の雰囲気になる。地元の食材を中心とした季節のお料理には定評がある。

電話 080-2984-0111
定休日 月曜日
営業時間 昼11時半～14時
夜17時半～22時

愛媛県今治市玉川町中村103-2
電話 080-2984-0111
定休日 月曜日
営業時間 昼11時半～14時
夜17時半～22時

鴨部

畠寺



牛馬の信仰にちなみ、本堂屋根には牛や馬の飾り瓦が見られる。



元禄14年(1701)に重建された光林寺本堂

行された際に光林寺へ密教を伝授した。それ以来光林寺は真言宗になつたと伝わる。

正式には高野山真言宗庵尼山宝塔院光林寺で、ご本尊は不動明王。大宝元年(701)に文武天皇の勅願により、徳蔵上人によって開山されたと伝わる。大同元年(806)、唐より帰国途中の空海が権原山に登り、修法(密教の修法)が行なわれた。

塔を平成22年5月に建立した

また、名時代を通じて元領主の信仰が篤く、河野・牛・福通直・村上・武吉・福島正則・藤堂高吉・今治義主松平氏らの書状を有する。

〒794-0116
愛媛県今治市玉川町畠寺甲530
電話(0898)55-2438



鎌倉後期に造られた宝篋印塔
は指定の文化財となっている



天和3年(1682)に修理された仁王門
昭和55年(1980)に茅葺きから瓦葺きに改修した

光林寺の裏山にあり 大宝元年(701)に白山權現として創祀された。
光林寺も同年に開基している。広大な敷地内には巨木や多くの植物がある。

②2 白山神社



参道はきれいに掃除されている



御神殿(檜皮葺き)の上に屋掛はしてある

【鴨部】 煙寺

風泥舎作

(23)けたの池と白ヘビ

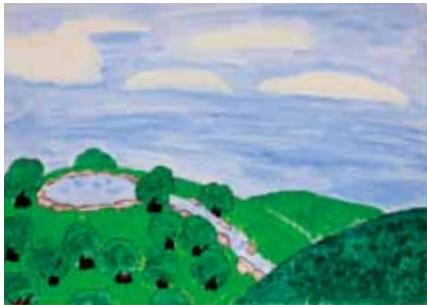
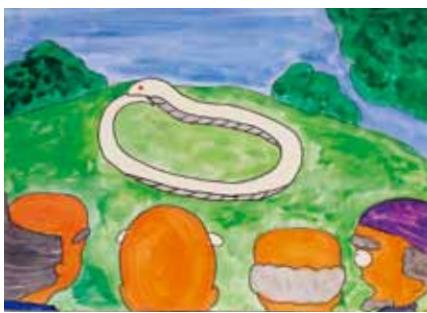
煙寺に伝わる民話。

昔、水不足で苦しんでいた煙寺の地域に、水をもたらした大きな白蛇のお話。

胴回りが50cmもある大きな白蛇で、しかも目が真っ赤。神通力をもっていた。

煙寺は玉川町の他の地域よりも水が少なく、昔から苦労していたが、雨が降るので、村人は神の化身だとありがたがっていた。

この年も雨が少なく、けたのお地蔵さんに雨乞いのお祈りをする



玉川の民話からとった手造りの紙芝居が作られている。

ことになった。

その時に現れたこの白蛇に山の頂上まで導かれた。

蛇が大きな円を作ったところを掘ると、水が湧き出てきたと伝えられている。

現在、けたの池のおおよその場所はわかるが、草深く行くのは難しい。今でも煙寺では、お盆の月の27日に盆踊りが行われている。

このお話は紙芝居になっている。



(24)郷の元板碑



大変貴重な中世石造物。

板碑とは、板石塔婆(卒塔婆)とも

言われる供養塔の一種。板状に加工した石材の正面に種子(梵字)・図像・文字などを刻んでいる。

関東地方では、加工しやすい青石(結晶片岩)の中世板碑を多く見かけるが、郷の元板碑は当地方特有の花崗岩を使用している。

愛媛県内では、中世に造立された板碑の確認事例が少なく、今治地方では郷の元板碑だけが知られていて、形態から判断すると南北朝時代から室町時代にかけての造立か。

平成13年ころの調査で発見されただし、二条線を彫っている。身部には種子の大日如来が刻まれ、その下に七の数字が見られる。以下は折れて欠損しているが、おそらく七七日の法要の日を刻んだものと思われる。

近くの光林寺には、鎌倉時代後期の宝篋印塔が2基あり、玉川町内に拡幅工事にともない、祀り直した。

(25)風泥舎

桑原孝氏が主宰する陶芸サークル。全国から土を取り寄せ様々な焼き物を作る。教室は月・火・木の夜間。希望によって体験もできる。

〒794-0116
愛媛県今治市玉川町煙寺
電話090-4335-6132(桑原)



【鈍川】

おに
かわ
鬼原



落合橋は、昭和12年8月に竣工した鉄筋コンクリート造りの開腹アーチ橋。全長は27.5m、幅は2.8m。

開腹とは、

アーチの側面をくりぬいて意匠をこらした造りのこと。

これに対して、側面が壁になっているものを充腹アーチ

と言つ。

川に下りて下から落合橋を眺める
と、そのレトロな美しさに感動する。

長谷地区と鬼原地区を結ぶ生活橋として造られ、広い県道ができるまでは多くの交通量があった。

今では、利用する人も少ないが、現役の橋として存在感を示している。いつまでもこの形で残していくればと願う。

落合橋の少し上流に蒼社川と玉川の合流するところ（地名／落合）があり、ここで水量が一気に増す。

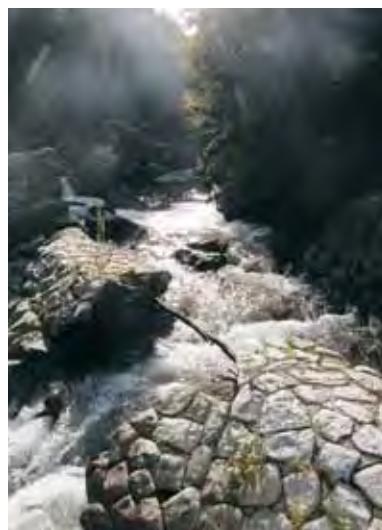
この場所に、1km下流の長谷発電所へ水を送るための取水口が設けられていた。2つの川が合流するため、水が涸れる心配が少なかつた。

今も石垣とコンクリートで造られた堰の遺構が残されていて、絶えることなく水が流れている。水路の遺構も左岸沿いに一部見られ、落合橋の橋脚は水路跡に建つ。長谷発電所は、明治40年に竣工した今治で最初の水力を示している。今も長谷の三島神社の境内にその遺構がある。

(P. 46 参照)

26 落合橋

おち
あい
ばし
鬼原



27 蒼社川と玉川の合流地点 (長谷発電所取水堰跡)

【鈍川】 鬼原

(28) 五人衆さん



戦国時代、龍岡下の幸門城^{さくもんじょう}の家老・鳥生石見守が反逆を企てた。鷹ヶ森城主・越智駿河守と謀り、幸門城主正岡右近太夫を討ち取り、来島氏の旗下に属そうとしたが、事前に陰謀が発覚し、幸門城内で討ち取られた。鳥生石見守の家族は鷹ヶ森城に逃げようとしたが、鬼原のこの地で捕えられ、妻子ら5人が討ち取られた。

ところがその後いろいろなたたりがあつたので、この村では5人を祀り、供養するようになつた。今でも「五人衆さん」と伝わる、一石五輪塔など5基の石造物が祀られている。



(29) はなかげさん

鬼原のバス停から落合橋を渡つてすぐのところに、穴の開いた石垣がある。

庄屋さんの家に入った泥棒が逃げる途中、ここにあつた岩に鼻をぶつけて死んでしまつたという民話が残つている。村人達はいくら泥棒でもかわいそうだと思い、この地に葬つたという。今でも、お花などが供えられている。

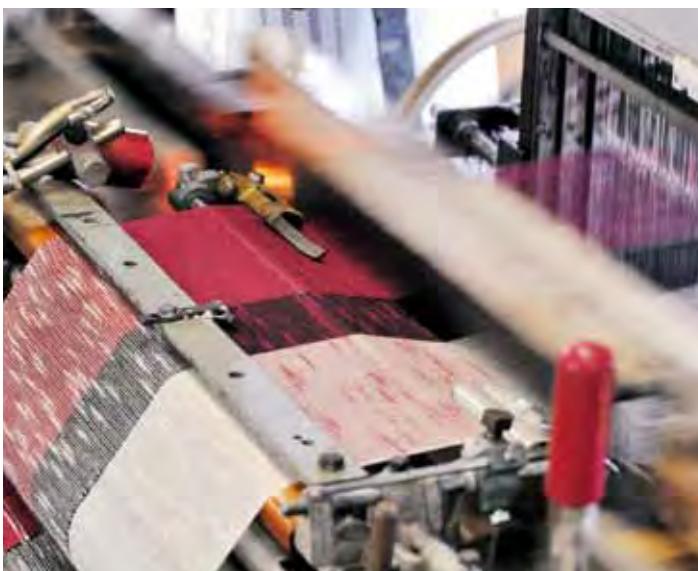
この言い伝えは紙芝居になつていて。



紙芝居の一場面

(30) 工房織座

古いタオル織機を復元・改良したもので、スローに織り上げる。工業製品でないながら手作りの味わいを持ったマフラーーやショール。ここ玉川の豊かな自然の中でこそ生まれるモノがここにある。ログハウス風のショップが目印。



〒794-0117
愛媛県今治市玉川町
鬼原甲55
電話0898-55-2564
FAX 0898-55-2584
定休日 不定期
営業時間
9時半～16時
<http://oriza.jp/>

【鈍川】 大下

(31)せせらぎ交流館

鈍川温泉の手前にある公共の温泉施設。その名のとおり、木地川のせせらぎが聞こえる豊かな自然の中にある。宿泊施設はないが気軽に入浴ができるところが人気。いつも多くの入浴客で賑わっていて、休憩室や軽食が食べられるコーナーもある。お風呂には、ジャグジー、露天風呂、ジエット風呂、うたせ湯、サウナなどがある。



〒794-0121 愛媛県今治市玉川町鈍川甲218-1 電話0898-55-4477

(33)温泉スタンド

観音湯という名前が付けられて
いる温泉の自動販売機。鈍川温泉
街入り口に設置されており、
100円で誰でも自由に
温泉を汲んで帰ることができます。
24時間年中無休。



せせらぎ交流館のそばにある水力発電所。大正9年6月に竣工、今も現役で活躍している。現在は800kwの出力があり、玉川町全域の電力をまかなうほどである。ここに流れてきている水は、約1.5km上流の木地川から取り込んでいる。発電所上の水槽から落差138m、500mの距離の鉄管の中を一気に下り、水車・発電機を回転させていている。建物は木造平屋奇棟造りで当時の面影を残している。現在、四国電力が管理している。



昭和29年に設置された水車・発電機

(32)鈍川発電所 本館

(34)薰林庵

鈍川温泉入り口のバス停の奥にある隠れた焼きもの中心のギャラリー。中に入るとまるで別世界、心落ち着く空間がある。作家の逸品が驚くほどの安値で販売されていて、月に一度はジャンルを越えた作家の展示会が催される。



〒794-0121

愛媛県今治市玉川町鈍川甲270
電話0898-55-4555

月曜・火曜・水曜の営業
営業時間 11時～17時

【鈍川】大下



道後温泉・本谷温泉とともに伊予の三湯の一つ。ラドンの含有量が多く、肌がすべすべになることから美人の湯とも言われる。明治初年に今治藩の湯治場「楠窪冷泉浴場」として整備されたがすぐに絶え、大正14年9月18日に今日の鈍川温泉として再整備された。

現在は5軒の旅館があり、春は桜、夏は涼しい清流、秋は紅葉と四季折々の魅力を楽しむことができる。

③鈍川温泉



〒794-0121
愛媛県今治市玉川町
鈍川庚772-5
電話0898-55-2057

③7門田旅館

山間の静かな宿といふ雰囲気でじつ
くくりと湯治するには最適の宿。手軽に
泊まれるの
がおすすめ。



〒794-0121
愛媛県今治市玉川町
鈍川庚773-1
電話 0898-55-2360
<http://www2.ocn.ne.jp/~mikado/>

③6美賀登

お風呂は階下にあり、間近に木地川の流れや自然を眺めながら入浴することができます。いのぶた鍋、猪鍋、川魚、瀬戸内の魚介の料理が自慢。家族風呂、日帰り入浴可。



〒794-0121
愛媛県今治市玉川町鈍川甲280
電話0898-55-2310
<http://www3.ocn.ne.jp/~kadoyabs/>

③9カドヤ別荘

高台に位置し温泉全体を展望でき
る。天然の岩盤を利用した岩風呂や貸
切風呂もある。



〒794-0121
愛媛県今治市玉川町
鈍川甲276
電話 0898-55-2280
<http://nibukawa.com>

③8鈍川温泉ホテル

溪流を眺めながらの露天風呂、岩風呂、家族風呂など多彩なお風呂を楽しめ
る。日帰り入浴可能。瀬戸内の魚、いのぶ
た鍋、雉鍋などの料理も人気。



人気のいのぶた鍋



〒794-0121
愛媛県今治市玉川町鈍川甲283
電話0898-55-2350
<http://nibukawaonsen-kairakusou.jp/>

④0皆楽荘

最も上流に位置する旅館。大浴場の大
きな窓からは渓谷を見下ろすこ
ができる。入浴のみの利用も可能。

【鈍川】大下・木地

④鈍川渓谷

高縄半島最高峰の東三方ヶ森(1232m)の中腹から発した水が集まり、木地川となつて渓谷がつくられた。鈍川温泉からさかのぼっていくにつれ、様々に変化する美しい渓谷が見られる。初夏の新緑、秋の紅葉と、また季節や時間によっても移り変わる。車道からところどころ降りることができるので、夏は涼を求める人たちで賑わう。遊歩道もつくれられていて、森林浴を楽しみながらの散策もできる。



④森林館



鈍川温泉より約2km上流にある。ウォーキングにちょうどいい距離。地元の間伐材を使って建てられた美しい木造の休憩所で、特に秋の紅葉が美しい。展示場には、林業で使われていた道具などが展示されている。

④水源の森



乱伐によって荒廃した森林には貯水力がなく、水害や干ばつを繰り返していた。明治34年より、治山・治水のための森づくりが始まったのが最初。平成3年以降は本格的な植林が行われ、平成7年には「水源の森100選」に指定される。その後、国連のFAO(食料農業機関)から「アジアモデル林」に認定された。森林館から少し上ったところに水源の森の石碑がある。



④鈍川発電所取水堰

鈍川発電所から直線で1.5kmの上流にある取水口。川をえん堤でせき止め、トンネルを伝って発電所の上まで流れている。木地川の絶えることのない豊富な水量があるからこそ、発電ができる。

【鈍川】木地

(45) 楠原山
なら ばら さん



楠原山は、玉川町のシンボル。



馬神様と牛神様が祀られている。写真は馬神様



頂上近くにある手洗い石

楠原山は、玉川町内どこからでも三角の山頂が見え、頂上近くに多くの大木があるのが遠くからでもよくわかる。奈良原神社はこの山頂(1042m)にあった。開山は持統4年(689)と伝えられ、大変古い歴史を持つ。

高縄半島の山岳宗教の中心となり、修験道の行場として栄えた。神仏混合時

代には、末寺を合わせて48人の常住の僧がいたと言われている。牛馬の保護祈願としての信仰が厚く、縁

日(旧暦8月丑の日と午の日)には今治だけでなく道前・道後平野や県外から多くの参拝者があり大変賑わっていた。何本もある登山道・鳥居頂上付近の手洗い石・手つかずの鎮守の森を見て、そのことがわかる。また、雨乞いに関係の深い

明神もあり、崇拝されていた。

しかし、農業で牛馬が使われなくなるにつれて参拝者も少なくなつたが、今も楠原山は、玉川のシンボ

ル的な山と言える。

楠原山に登るには、多くの登山道(参道)があるが、現在は頂上近くまで車で行ける林道があり、車道の終点から歩いて30分足らずで頂上の奈良原神社に行くことができる。



頂上近くには広葉樹の森が残されている。



楠原山登山道の中で最も整備されている林道の登り口。

【鈍川】木地

46 國寶伊予國奈良原山經塚出土品^{きょうづか}



櫛原山山頂を望む。



奈良原神社の石造宝塔（市指定文化財）

は種子曼荼羅が彫られており、京都鞍馬寺出土品と双璧をなすといわれている。小さな瓶には、銅經筒とともに黒く腐食してしまった写經が残っていた。銅宝塔は、昭和12年に国宝に指定され、昭和25年「文化財保護法」が制定後、昭和31年に再度国宝に指定された。現在玉川近代美術館に他の副蔵品と共に保管され、春と秋に約1ヵ月ずつ一般公開されている。

数多く出土した銅錢は、中国からの渡来錢で最も古いものが621年の鋳造、新しいもので1433年があり、お賽錢として投げられていたと思われる。奈良原神社は長く信仰の対象であったのだろう。經塚の上に置かれていた石造宝塔は建徳2年（1371）に造立されている。

櫛原山と奈良原神社は、山を指す場合は櫛原の字が使われ、神社を指す場合は、奈良原となつていようだ。



出土品を一時保管していた石藏



出土した銅宝塔。平安末期の
すぐれた工芸品（国宝）

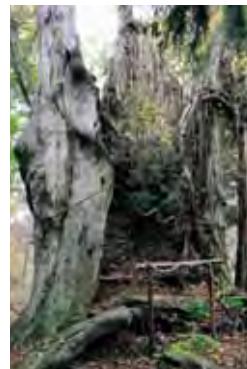
【鈍川】木地

④7 楠原山の子持杉

楠原山頂上付近には多くの巨木が残されている。その中でも子持杉といわれる巨な杉の木は、楠原山のシンボル。初代の子持杉は、幹の直径10m余りあり樹齢1000年とも言っていたが、枯れてしまい、今は2代目の子持杉（直径約6.65m）が威容を誇っている。こちらは樹齢400年と言われている。



2代目子持杉



初代子持杉は枯れている。



峠には江戸時代に建てられた奈良原神社の大鳥居がある。



峠にある吉井勇の歌碑

かつては桜の名所で、昭和20年代ごろまでは見事なヤマザクラが咲き誇っていた。全国的にも、吉野や嵐山などに次ぐほどのものだったと云う。
昭和11年4月21日に歌人の吉井勇がこの地を訪れ「大君の桜咲きけりかしこみて千足峠の花をおろがむ」と詠んだ。頂上にその歌碑がある。昭和16年に国指定の名勝に指定され、今でも国土地理院の地図には「千足のサクラ」と記されている。南北朝時代に南朝方の悲劇の天皇である長慶天皇がこの地に潜幸、この峠を越えたと伝えられており、それを偲んで桜を植えたとも言われている。昭和30年代にすべての桜が枯れてしまった。現在峠付近に数本のソメイヨシノとヤマザクラがあるだけになっている。峠に行くには神子之森側からの道がよく整備されている。



〒794-0121
愛媛県今治市玉川町
鈍川木地
電話0898-55-2317

森林館から約3kmほど上流に、「ジマスやアマゴを養殖している門岡養魚場」がある。釣堀もしていて、釣った魚をその場で炭火焼にしてもらえる。大自然の中で食べる魚は格別だ。
いくらでも釣れるので釣りすぎに注意。

④9 門岡養魚場

【鈍川】中通なかどおり



季節になると、たくさんの彼岸花が咲く。



鷹ヶ森城はこの山の頂上にあった。

神子之森に向かつて左手の小高い山の頂上に鷹ヶ森城の跡がある。戦国時代（1570頃）、河野一族の越智駿河守通能の居城だった。

これまで、頂上付近の平坦地が本郭（本丸跡）と認識され、戦国末期ごろの石積みが一部に見られた。平成22年4月の埋蔵文化財調査で、これを裏づける建物の礎石・土師器・陶磁器・備前焼・鉄釘・壁土などが見つかった。



鷹ヶ森城 本郭 磚石建物跡（写真／今治市教育委員会提供）



52 蛇淵じやぶち



蒼社川上流の玉川、鈍川保育所の跡のすぐ下に蛇淵という淵がある。ここに大きな蛇が棲んでいて、その蛇につわる物語が残っている。生まれてすぐ母親をなくした姫が、数年後蛇淵で母親を見る。実は蛇だったのだが、父親は、翌年の鷹ヶ森城落城の際に討ち死にしたと伝えられている。



観音堂の厨子内は通常は見ることができない。



越智駿河守の墓。昭和9年に建立された。



観音堂の扁額
は、伊予小松3代藩主・一柳直卿の揮毫による。

51 観音堂・越智駿河守の墓するがのかみ

観音堂は如意輪寺とも言っていた。如意輪觀音・青面金剛・地藏菩薩が祀られている。天正13年（1585）に鷹ヶ森城主だった越智駿河守が、豊臣秀吉の四国攻めで小早川軍に敗れ、この地で自害し、埋葬されたと伝わる。境内に越智駿河守の墓碑が建てられている。

【鈍川】日ノ浦

(53) 四十九山

鷹ヶ森城から谷を越えた対面の丘の辺りが四十九山と言われている。その田んぼの片隅に五輪塔の一部が残されている。天正13年(1585)豊臣秀吉の四国攻めの際小早川軍に鷹ヶ森勢が追い詰められ、この地で49人が自刃したと伝えられている。その大将のお墓がこの五輪塔という。今も地元の人たちによって花がいけられ供養されている。そんな悲劇があった場所だが、今は非常にどかな里山の風景が広がっている。



今はのどかな里山の風景が広がっている。



自刃した大将のお墓

(54) 浄土寺



妙高山阿弥陀院浄土寺は、建長元年(1249)に法印念西上人によって開山された。その後鷹ヶ森城主越智駿河守の祈願所となり、堂塔伽藍が完備されるも焼失。江戸時代に再建され、今に至っている。鷹ヶ森城、越智駿河守に非常に縁の深いお寺。



(55) 鈍川小学校跡 二宮金次郎像

廃校になってしまった鈍川小学校の片隅にある二宮金次郎像。像は陶製でできている。昭和11年、当時の校長先生の呼びかけで、児童らが川原から石を運び、約2.6m積み上げて台座にしたという。台座は、平成14年に国の登録有形文化財となつた。



どれも安くボリュームたっぷり!



まんてん焼き
〒794-0121
愛媛県今治市玉川町鈍川丙68-1
電話0898-55-3366
営業日 火・木・土の週3日
営業時間 10時~14時

J A おちいまばり鈍川支所の跡を利用して地元の人たちで運営している食堂。手作り感いっぱいの店内には地元産の野菜や手作り品を販売している。食事メニューは、寿司セット、猪丼、うどん。一番人気はモーニングセット。和風で素朴なおいしさ。

(56) ふれ愛茶屋

【鈍川】奈良ノ木

(57) 観子妃と皇子の墓



後醍醐天皇の孫で南朝の3代目天皇・長慶天皇（在位1368～83年）は、妃と皇子とともにこの地に潜幸していたと伝えられている。

妃と皇子のお墓と伝えられている場所が奈良ノ木にある。畠寺へ向かう道の途中の右手を少し奥へ入ったところ。

丘の上にこんもりと石積みがあり、そこに小さな五輪塔の残欠があった。崩れで傷みが激しかったため、地元の人によつて、新しく石碑が造られた。左の碑には「第九十八代長慶天皇御妃・皇子の命「宮之上」御陵」、右の碑には「第九十八代長慶天皇第三皇子尊聖皇子御墓」とある。中央に元々あつた五輪塔を sostえている。

長慶天皇の伝説は、北は青森から南は福岡太宰府まで全国100カ所以上に及ぶ。その中でも玉川町、またその周辺に潜幸された可能性は非常に高い。最期は、現在の東温市で崩御されたとも言われている。このお墓のある所を「宮の上」といい、谷をはさんだ正面に王子神社がある。



妃の絵馬

(58) 王子神社

「王子橋」という橋を渡つて、10分ほど登つたところにある。車が入ることができず、徒歩で行かなければならぬ。

この神社は690年に開かれると伝わる。その後、南北朝時代に長慶天皇・妃・皇子がこの地に潜幸された由縁により、その靈を合祀した。王子を抱いて千疋峠を歩く妃の絵馬が飾られている。



(59) 奈良ノ木の貧乏神

働いても働いても暮らしが楽にならない貧乏な大家族の家に、貧乏神が憑いていたというお話が奈良ノ木に伝わつてゐる。ここでは暮らしていけなくなり、村を出て行こうとした時に貧乏神の存在を知り、外へ放り出した。もう少しここでがんばろうと物語は終わる。紙芝居ではおもしろおかしく書かれているが、当時の農村の暮らししかいに大変だったかといふことが偲ばれる。

【鈍川】 神子之森・古屋之谷

⑥〇玉川



「玉川」という川は、神子之森、奈良ノ木から発した川で、鈍川温泉との分かれ道のところで木地・鈍川渓谷から流れてくる木地川と合流する。その後、蒼社川と落合で合流、蒼社川本流となる。「玉川」は、玉川町の川の中でもっともゆるやかでのどかな川。他の川は渓谷を形成し、蒼社川は玉川ダムに流れ込むほどの水量がある。しかし、この「玉川」は静かにゆるやかに流れている。最もここに休まる里山の川だ。

鵠部村・鈍川村・龍岡村・九和村が合併し、玉川村という名前になつたのは、この辺りに伊勢神宮の所領（玉川の御厨／たまがわのみくりや）があつたことに由来していると言う。御厨とは日本全国の良質の穀物産地を選んで伊勢神宮の料地とされたもの。

⑥〇孝行者のこまさん



⑥〇あなぐらさん

あなぐらさんは、村人の願いごとを聞いていろいろなものを貸してくれる。お膳、座布団などあらゆるものを持ち下さった。ある日うつかりものの嫁が法事のため20個借りたお茶碗を1個割ってしまった。それ以来、何も貸してくれなくなり、忘れて去っていた。その後おばあさんが息子が痛めた足の治療をお願いした際に、あなぐらさんに頼まれ、家に持ち帰りお祀りすることになった。息子の足は治り、今もその家にあなぐらさんが祀られている。

神子之森に、親孝行な「こまさん」のお話が伝わっている。
貧しい家に生まれたこまさんは、短気で頑固な父親の行状にもめげず一生懸命働き、家族を助けてなんとか生活をしていた。そんなある日、その孝行ぶりを知った殿様から褒め状をいただいた。それ以来、父親もこまさんに感謝するようになり、家も栄えたというお話。こまさんは実在した人物で、その石碑が残されている。

〔鈍川〕MAP



【龍岡】 鍛冶屋・妙見前

(63) 幸門城跡



幸門城跡は玉川ダム湖の真北の山上にある。伊予国の3分の1以上を支配していた河野氏の将・正岡氏の居城だった。玉川近辺の各山城の中心的存在で、最大規模の城だったようである。幸門城の始まりは、建武年間（1330年代）とされている。鎌倉後期から宋え、当初は「岡の城」と呼ばれていた。南北朝時代に、長慶天皇の入城により幸門城と改名された。天正13年（1585）豊臣秀吉の四国攻めにより、落城したものとされる。

落城の数年前の1579年、家老・鳥生石見守は鷹ヶ森城主の越智駿河守と謀って、正岡経政を討ち取り来島氏に属そうとしたが、陰謀は発覚し討ち取られた。鷹ヶ森城へ逃げようとした妻子も途

中の鬼原で討ち取られた。「五人衆さん」（P.15 参照）として祀られている。

現在、歩道は

よく整備されて

いる。頂上付近

は本丸跡を偲ばせる広場になっ

ていて。また、わざかに石垣の跡が残っている。



羽藤耕一氏宅に残されている碑

(65) 隠れキリシタン碑？

妙見前には、隠れキリ

スタン碑と伝わる石塔が

ある。板碑と二石五輪塔

に似た形状を示し、石材

は安山岩である。玉川町

を含む高縄半島西部地域

特有の石塔であることが

ら、近年、高縄式石塔（高

縄塔）とも呼ばれている。

同様の形態のものが玉川

町内だけで約30基確認さ

れ、高縄半島西部全体で

(66) 馬頭観音

馬頭観音は、元来は煩惱

を打ち砕き病を取り除く力

を持つものだったが、やが

て馬の供養の意味合いを持

つようになつた。鍛冶屋バス

停の近くに祀られて

いる。



いる。

(64) お不動さん

妙見前集会所から300mほど山に入った谷の岩に、お不動さんが刻まれている。不動明王は大日如來の使者といわれており、悪魔を降伏させるために怒ろしい姿をされている。



お堂の中には、無相上人和讃と無相上人歴が壁に掛けられている。觀世音菩薩、薬師如来も祀られている。

といふ僧によって開かれた

と伝えられている。

お堂の中には、無相上人

和讃と無相上人歴が壁に掛け

られている。觀世音菩薩、

薬師如来も祀られている。



馬頭観音は、元来は煩惱

を打ち砕き病を取り除く力

を持つものだったが、やが

て馬の供養の意味合いを持

つようになつた。鍛冶屋バス

停の近くに祀られて

いる。

【龍岡】鍛冶屋・妙見前

(67) 天神社



玉川ダムの湖畔に位置する大きな神社。以前はすぐ下の龍岡小学校と隣接していたが、ダム建設に伴い昭和47年、現在の場所に新築された。龍岡小学校も昭和44年に九和小学校に統合されている。

祭神は天穗日命と菅原道真神。多くの神社が古くなり傷んでいるが、この天神社は新しく美しい。掃除もいきとどいている。

本殿裏の鎮守の森に多くの巨木がある。その中でもサカキの大木は目通り(幹周り)250cm近くあり、サカキがこれだけの大木になるのは非常にめずらしい。日本一の大きさとも言われている。



龍岡小学校跡の石碑



▲日本一と言われているサカキの大木。
◆境内には多くの宝篋印塔や五輪塔がある。周辺に散在していたものをここに集めて祀っている。



今治市の陸地部では、頓田川河川敷と並んで最も美しいのがここ玉川ダムの公園の桜。約1500本のソメイヨシノが咲く。木の大きさ、密度、樹齢もちょうどいい状態になっている。近くにはキャンプ場も整備されている。ダム湖ではボート(漕艇)競技も行われ、いつも多くの選手が練習している。また、ダム周辺は多くの野鳥が生息していて、バードウォッチングのメッカともなっている。

(68) 玉川ダム周辺の桜

(69) 玉川湖畔の里



〒794-0123
愛媛県今治市玉川町龍岡下乙18-1
電話0898-55-3092
定休日 毎週月曜日及び12月29日~1月3日
営業時間 9時~17時

地元産の農産物や竹炭、よもぎ餅など加工品が人気。桜まつり、新米まつり、餅つき大会、鍋祭りとイベントを楽しみにする人も多い。

【龍岡】小川・葛谷

⑦〇 小川の五輪塔



小川の小高い丘陵に六地蔵さんと五輪塔が10基ほどある。残欠を組み合わせたり、ばらばらになっているものもある。小ぶりなものが多いが、天神社の石塔群とともに中世石塔群として貴重である。花崗岩でできており、蒼社川の石で造つたものかも知れない。

⑦一 檜の大木と道祖神



湖畔の里の裏、御後川にかかる塞ノ神橋のたもとに大きなエノキがあり、その根本に道祖神が祀られている。道祖神は、もともとは悪靈をさえぎる神様として村境や峠に祀られていた。やがて、旅の道中を守る神・縁結び・子供の守護神・子授け・性の神など様々な性格をもつようになつた。

⑦二 無線中継所



葛谷から北へ上りきると、無線中継所がある。最初のものは昭和20年に設置された。途中に展望のよいところがあり、樺原山・北三方ヶ森・高繩山が見える。山頂近くに「へんど墓」があり、悲しい物語が伝えられている。



⑦三 へんど墓



無線中継所のすぐ下に小さな祠がある。お遍路でこの地に来た娘さんが地元の男と結婚の約束をしたが、それが叶わず、この辺りで道に迷い、雪の中で亡くなつたというお話をえられている。その娘さんを供養するためのお地蔵さんが建てられ、今まで元庄屋・服藤家に残つている。樹齢は350年以上と言われば、木の高さは20mを越える。老木ながら今も毎年実をつける。

⑦四 服藤家の柿の木



今治藩は、各庄屋に木練柿となしの苗を1本ずつ植栽させたらしく、その時の柿の木が葛谷の元庄屋・服藤家に残つている。樹齢は350年以上と言われば、木の高さは20mを越える。老木ながら今も毎年実をつける。

【龍岡】中村

75 石折神社
いわ さじ じん じゃ



76 旧中村橋

古老によると、昭和10年代の架設という。今の国道ができる以前は必ずこの橋を渡っていた。老朽化のため、現在は通ることができない。

この橋は、鉄筋コンクリート造りの充腹アーチとなっている。鬼原の落合橋は開腹アーチで、これよりも規模が大きい。近代土木遺産として残したい建造物だ。



昔、川に橋を架けるため、工事の邪魔になつたむくの木を伐つた。ところが、それからすぐ完成間近の橋が崩れた。むくの木に住んでいた神様のたたりだと言われ、木を植え、神社を建ててその神様を祀つた。それがこの石折神社。

77 龍岡寺
りゅう こう じ



大般若經

高野山真言宗 理觀山医王院龍岡寺
龍岡寺は中村の集落全体を見渡せる場所にある。

901年から23年に開基とあり、1000年を越える歴史があるが、昭和36年の火事で本尊をはじめ多くの古記録、伽藍を焼いてしまった。1371年から写経された大般若經は、焼失を免れ現代に伝わっている（市指定文化財）。全600巻のうちここには400巻があり、残りの200巻は朝倉上の光蔵寺に保存されている。

また、中世は高繩半島を支配した正岡氏の菩提寺として栄え、江戸時代に入ると今治藩の庇護を受けることとなった。現在本堂に祀られている仏像の中で、随求明王（大隨求菩薩）は宝暦10年（1760）、仏師・京都仲田右京の作、弘法都北川運長の作とされている。

大師像は宝暦12年（1762）、仏師・京都北川運長の作とされ大師像は宝暦12年（1762）、仏師・京都北川運長の作とされ

ている。

昭和57年には伊予府

中十三石仏靈場第十三番札所として虚空藏菩薩を祀り、平成6年には護摩堂を建立し、不動明王を祀つた。

1月に開催される大般若祈祷会は、初薬師の日、一帯の寺院に先がけて龍岡寺で開催される。

この橋は、鉄筋コンクリート造りの充腹アーチとなっている。鬼原の落合橋は開腹アーチで、これよりも規模が大きい。近代土木遺産として残したい建造物だ。



【龍岡】 中村

78 お塚さん

【お塚さん】または【みちかつさんとも言われている。

龍岡寺の近くの山中にあり、室町幕府最後の将軍第15代足利義昭と河野通宣の娘、章子との間に生まれた幼名昭王丸、後の河野通勝



を祀っているとされている。お塚さんには、五輪塔3基と一石五輪塔の残欠などがある。



龍岡中村から力石にかけて、隠れキリシタン碑と伝わる石塔がある。板碑と一石五輪塔に似た形状を示し、石材は安山岩である。中には、正面に画像を刻むものがあり、これをマリア像とする見解もあるようだが、密教系の剃髪僧が合掌した姿にも見える。画像があるものは高繩半島西部地域で90基近く確認され、旧北条市域に最も多く、玉川町内には7基ある。

79 隠れキリシタン碑？



を祀っているとされている。お塚さんには、五輪塔3基と一石五輪塔の残欠などがある。

80 神風特攻機の墜落の碑



太平洋戦争末期の昭和20年5月19日、龍岡上ハナビラ谷に神風特攻機が墜落した。特攻隊員2人が死亡、1人が重症を負った。特攻機は零式三座水上偵察機で、沖縄方面へ出撃のため、香川県詫間基地を出発し、鹿児島県指宿基地へ向ったが、悪天候で詫間基地へ引き返す途中、霧や重い爆装により山腹に衝突し墜落した。あまりに悲しい出来事である。現地には昭和41年「特攻隊員殉職の地」と刻まれた石碑が有志と玉川町によつて建てられた。平成5年には50年の法要が営まれたが、その後訪れる人もなくなつた。今は、谷沿いの道を進み、やつとたどり着くことができる。

夏はブルーベリー、秋はマコモタケ。特にブルーベリーのおいしさは評判が高い。摘みとり体験、自然体験、教室も開催している。

81 森のともだち農園



〒 794-0124
愛媛県今治市玉川町龍岡上
甲363番地
Tel 0898-55-2427
<http://www.moritomo.com>



【龍岡】力石・木地



権原山には多くの登山道がある。登山道ではなく奈良原神社へお参りする参道と言つた方がいいかもしない。

- 1、奥道後から水ヶ峠を越え木洩れ日の橋を渡り登る道。
- 2、鈍川中通から仏ヶ峠、下本地から登る（昔は鈍川温泉からの車道はなかつた）。
- 3、神子之森から千疋峠、上本地がら四国のみちを登る。
- 4、龍岡中村から、あるいは鈍川大下から丸山を経由、重信からも、黒谷からも道があった。
- 5、そしてこの力石からの道。国道317号線を水ヶ峠トンネルに向かって走り、力石に入ると左手に下りる。蒼社川を渡る立派な橋が架かっている。その先に大きな鳥居がある。年号は天保6年とある。奈良原神社参道と言つていい。ただ現在道は荒れているらしい。

(82) 力石の権原山登山口

ちからいし

権原山には多くの登山道がある。

(83) 白椿と黄金



力石に伝わるお話。
正直で働き者の太郎兵衛さんが、神様のお告げで茶せん松の白椿の根元で黄金を掘り当てた。神様からは三代後に使うべしと言われたが、息子の代になり、神様の言い伝えを守らなかつたためその黄金を失うことになる。
このお話を紙芝居にして伝えている。



(84) 嵐城跡



龍岡上地区には中通城・法
木谷城・藤古城・須賀城・嵐
城の5つの古城跡があ
る。戦国時代の正岡氏の城と
され、自然の要害につくられ
ていた。嵐城跡は北三
方ヶ森の林道を2kmほど
登ったところにある。現在は
多くのしだれ桜やソメイヨ
シノが植えられており、桜の
名所となつている。

【龍岡】木地

⑧5 觀音堂



水ヶ崎トンネルの手前の木地部落の小高いところに観音堂がある。木地は現在2世帯で、この観音堂を守っているひ夫婦ともう一軒のみとなっている。

観音堂の本尊は、十一面觀音菩薩で秘仏となっている。文中年間（1372頃）に寛理法皇（長慶天皇）がお堂を建立し、観音像は奈良興福寺南円堂より勧請したと言われている。靈験著しく、かつては多くの参拝者があつた。



⑧6 龍岡小学校木地分校跡



⑧7 水ヶ崎トンネル



現在旧校舎は残されている。



国道317号線の水ヶ崎トンネルは平成9年（1997）に開通。全長2804m。県内では寒風山トンネルに次ぐ長さ。これにより松山市が飛躍的に近くなった。トンネル入り口には、記念の看板が玉川中学生有志によつて立てられている。また、地元のボランティアによつて植栽され、よく管理されている。毎年3月17号線にちなんで3月17日に清掃活動が行われている。

木地は、蒼社川源流域の森林を生活の場としていた。昭和30年頃は、約40世帯・200人余り住んでいたが、現在は2世帯のみとなつていて、現在は2世帯のみとなつていて、

龍岡小学校木地分校は明治20年に開校、明治40年に一度廃止されている。

その後、林業が盛んとなり、昭和27年に生徒数31人が再開校した。最も生徒数が多かつたのは、昭和33・34年の39名だつた。昭和43年に生徒数減少とダム建設により龍岡小学校の本校に合流し、その後は九和小学校に統合された。

その後、林業が盛んとなり、昭和27年に生徒数31人が再開校した。最も生徒数が多かつたのは、昭和33・34年の39名だつた。昭和43年に生徒数減少とダム建設により龍岡小学校の本校に合流し、その後は九和小学校に統合された。

【龍岡】木地

⑧8木洩れ日の滝



水ヶ峰トンネルから蒼社川沿いにさらに1kmほど上ったところに、小さいながら風情のある滝がある。玉川のボランティアグループと玉川中学生有志で清掃し、木洩れ日の滝と名づけられた。



水ヶ峰トンネルの手前から林道を上り、木洩れ日の滝を過ぎてさらに上ると、素掘りのトンネルがある。その中に、【三十ー丁和氣郡菅沢村】と刻まれた地蔵型の丁石がある。トンネルを抜けると鳥居がある。かつては松山から水ヶ峰を越えて奈良原さんへの参道であった。松山の日浦地区(河内町)には【左奈良原社二里三十丁・右福見觀音一里五丁・万延元年】という道標が残っているのを見ても、かなりの参拝者が松山方面からも来ていたことが推測される。

⑧9地蔵型丁石



⑨0木洩れ日の橋



蒼社川を遡っていくとどこまでも深く続く。この橋を渡ると龍岡側から檣原山へ登る道に続く。龍岡側からはこれが最短の道になる。この道は松山側から水ヶ峰を越えて奈良原さんへお参りするための参道であった。橋を渡る手前に明治40年と年号がある石の道しるべがある。

⑨1蒼社川源流・五丈の滝



水ヶ峰トンネル入口横の林道をどんどん遡っていくと、一般的の車は通行止めになる。高繩半島の最高峰東三方ヶ森(1232.7m)から明神ヶ森(1216.9m)への深い谷が蒼社川の源流となる。源流探索は本格的な沢登りの技術が必要だ。五丈の滝は、かつて15m余りあつたらしが、今は荒れて埋まり半分ぐらいの高さになつてている。五丈の滝へ行くのも沢が荒れていって難しい。



かつての五丈の滝 (四田觀水)

【龍岡】MAP

N
4

⑦無線中継所
⑧へんど墓

服藤家の柿の木
74 葛谷
天満神社

馬頭観音 鍛冶屋 妙見前 幸門城跡
小川の五輪塔 70 小川 お不動さん 隠れキリストン碑?
榎の大木と道祖神 71 天神社 玉川ダム
玉川湖畔の里 69 玉川ダム周辺の桜 玉川龍岡体育館
(災害時避難場所)

お塚さん 石折神社 317 中村 旧中村橋
龍岡寺 77 76 森のともだち農園
隠れキリストン碑? 79
神風特攻機の墜落の碑 80 力石
白椿と黄金 83 82 力石の樅原山登山口

嵯峨子城跡 84 龍岡小学校 木地分校跡 86
木地 観音堂 85 水ヶ峠トンネル 87
木洩れ日の滝 88 地蔵型丁石 89
木洩れ日の橋 90 樟原山

蒼社川源流・五丈の滝 91

〔九和〕法界寺

92 和靈神社



神門には左大臣、右大臣の像がある。 和靈神社本殿



山本雲溪の絵馬

宇和島の和靈神社が本社で、その祭神は山家清兵衛公頼。山家公頼は、宇和島伊達家の家老だった。神社は通常、何々の命とか権現様や八幡様をご神体としているが、家老の靈を祀つてるのは大変珍しい。

宇和島藩は、元和元年（1615）伊達秀宗が宇和郡10万石に封じられ宇和島に入った。

その時、父の伊達政宗が、山家公頼を総奉行としてつけ、彼が藩の財政を担うことになった。

元和5年（1619）大阪城の石垣工事をめぐり、桜田玄蕃と対立し、元和6年（1620）

中四国を中心に多くの分社があり、玉川町法界寺の和靈神社もその一つ。当初は、法界寺村庄屋の浮穴家の邸内社として、本社から勧請して祀られていたが、お参りするものが多くなり、

延享3年（1746）三島神社境内に移された。その後、寛政11年（1799）に今治藩主により現在の場所に社殿を建立した。漁業、商業、交通安全の神様として、県内はもとより、広島県など県外から多くの参拝者があつたという。今治の高橋や小泉に和靈神社への道しるべがいくつか残っていることからもその賑わいが推測される。

今も旧暦の6月23日（本社が現在の場所に移転した日）のお祭りは大変にぎやかである。



本殿前の力強い狛犬

山家公頼は、夜討ちされた。その後、暗殺に加担した者が次々と変死した。

そこで伊達秀宗は寛永8年（1631）山家公頼のご靈を勧請し、児玉明神として祀った。さらに承応2年（1653）桧皮の社に移転し、山頼和靈神社と改称された。和靈神社は、



常夜灯や狛犬は、江戸時代後期のもので比較的新しい。境内には、クロガネモチや、ケンボーナシなどの大木がある。



小泉にある道しるべ
三島神社は、大三島の大山祇神社が總本社で全国に数多くある。愛媛県だけでも100社を越える。玉川町にもたくさんの三島神社があり、法界寺の三島神社は、神龜5年（1256）に創建された町内でも古いお宮の一つ。かつてはその境内に和靈神社も置かれていた。

三島神社は、大三島の大山祇神社が總本社で全國に数多くある。愛媛県だけでも100社を越える。玉川町にもたくさんの三島神社があり、法界寺の三島神社は、神龜5年（1256）に創建された町内でも古いお宮の一つ。かつてはその境内に和靈神社も置かれていた。

93 三島神社

【九和】法界寺

94 宝積寺



平成20年に落成した本堂



隠れキリスト教碑?



たくさんの五輪塔がある。

密厳山宝積寺(清淨院)は、弘法大師の弟子によつて平安時代の弘仁3年(812)に開山した古いお寺である。高野山古義真言宗で河野家の祈願所として多くの末寺を持ち繁栄していた。その後鎌倉時代から室町時代にかけ縮小、さらに戦国時代に各お堂は焼失した。平成20年に本堂を新築し、威容を取り戻した。南北朝の争乱時代に、南朝の年号を使用した大般若経(六百巻)が完全な姿で保存され、現在に至つている(市指定文化財)。この大般若経は、南朝の年号である「天授」が多く使用され、それが現在まで600年余りの間、大切に保存され転写されてきたことは全国的に非常に珍しい。

境内には、室町時代のものといわれる多くの五輪塔や、伝・隠れキリスト教碑(高繩塔)がある。



蒼社川は、玉川町、今治市に絶えず水を供給してきた命の川である反面、氾濫による水害ももたらしてきた。

今治市と農民により歴史的事業であつた玉川ダムと関連水利施設の完成を記念に建てられたのがこの碑である。

旧来の水利権を全面的に解消し、近代的な水利慣行を打ちたて、水利施設の維持管理費を市負担としたのは全国的に見ても画期的などであった。

95 曽我部右吉頌徳碑



曾我部右吉翁は、蒼社川及び頓田川水系の治山治水の基となる森林資源の育成事業をしている共有山組合は、今治市玉川と朝倉共有の組合で、植原山系に広大な森林を持ちその育成に努めている。



T794-0103
愛媛県今治市玉川町法界寺甲30-7
電話0898-55-2222
年中無休
営業時間 11時～22時(オーダーストップ)



焼肉をはじめ、セット料理からランチまで豊富なメニューから選べ、どのメニューもボリューム満点! から揚げ、ジャンボエビフライが人気。また、めずらしい銘柄の焼酎などもあり、大人から子供まで満足できる焼肉レス

97 八勝亭

オリエント玉川店

【九和】大野・三反地

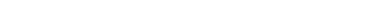
⑨8 大野神社



石段と石垣が美しい。



大野神社は、延喜式神名帳「延長5年(927)にまとめられた全国の神社一覧」に記載された伊予24座、越智郡7社のうちの1社で、延喜元年(901)に建立された。五十嵐の伊加奈志神社、古谷の多伎神社、八町の樟本神社、別宮の大山祇神社、日吉の姫坂神社、高橋の大須伎神社である。戦前は7社参りが盛んに行われていた。以前は、和靈神社、奈良原神社、また菊間のお瀧さんなど歩いてお参りする行事がよく行われていた。



⑨9 玉川近代美術館



屋外に展示されている朝倉彌子作 SUMMER

〒794-0102
愛媛県今治市玉川町
大野甲86-4
電話/FAX 0898-55-2738
休館日 月曜日
開館時間 9時~17時
観覧料 一般500円

玉川町出身の故徳生忠常氏が全資金を提供して昭和61年に寄贈。藤田嗣治からアンティークオーホルまで国内外の作家の作品380点余りが所蔵され、常時100点余りが展示されている。春と秋に約1ヵ月ずつ国宝伊予国奈良原山経塚出土品が公開される。さながら静かでゆっくり過ごせる美術館である。



河岸段丘の一番上部は平地になっていて、水田がある。



丘の上から段丘を見下ろすと段々で下がっているのがわかる。

河岸段丘とは、山の谷間に雨や土砂が流れ込み平らな面ができる、川となり、水の力で深く掘り下げられる。地殻変動で土地が隆起、川の流れが速くなり、さらに侵食される。また隆起して段状になる。これが繰り返されて段々になる。こうして河岸段丘ができる。

三反地は、典型的な河岸段丘で、蒼社川と大野川の浸食によって形成された。一番高地の上成に上がると、丘の上なのに平地になっていて、見下ろすと蒼社川の流れまで何段にもなっているのがわかる。しかもここには水が流れている、山の上なのに水田があるという不思議な土地となっている。水は、長谷の横山のノ瀬堰から引いており、機械力もない時代に高低差2.3mで水路はつくられている。夜提灯を並べて目で見て水平をとつてつくたらしい。セメントもない時代に苦労したに違いない。

【九和】三反地

⑩①三島新宮神社



玉川支所の裏の田んぼにある神さんの投げた石

鈴川の奈良原山と高橋の権現山が力くらべをしようとして石投げをした。お互いの投げた石は三反地のあたりでぶつかり田んぼの中に落ちた。この石は神様の石として大切に扱つてこられた。

お話を紙芝居にもなり語り伝えられている。

⑩②神さんの投げた石



三島新宮神社は、聖武天皇(724)の時代に伊予の国24ヶ所に三島新宮神社を再建した古社の一つで、別所新宮とも言われた古いお宮である。手付かずになつてゐる鎮守の森には、ツクバネガシをはじめ多くの古木が残つてゐる。社殿の前にある狛犬は、小さいが特徴があり面白い。文化12年(1813)の銘がある。



三島新宮神社は、聖武天皇(724)

⑩③うどんの里やまび

やまびこのうどんは今治うどんと言つてもいいような独自のおいしさ。きつね、てんぷらなど定番メニューのほか韓国風チゲ鍋うどん、だし入りカレーうどん、肉も天ぷらも入つたスタミナうどんなどオリジナルメニューもたくさんある。また丼や焼き込みごはんがセットになったセットメニューも人気。



〒794-0192
愛媛県今治市玉川町三反地甲17-1
電話0898-55-2755
定休日 水曜日
営業時間 11時～20時半

北欧の田舎にある家のようないい。北欧の田舎にある家のよくなまい。隠れ家的とかよく言われるが、本当に隠れ家のようなお店。電話もなく、知つている人だけがゆっくりくつろぐためになる。もの静かで控えめな奥さんの対応が心地いい。コーヒーがとても美味しい。好きな本を持つて日がない日を過ごすのもいい。



〒794-0101
愛媛県今治市玉川町
三反地甲217-18
定休日 日・月曜日
営業時間11時～17時

⑩④ようず体験事務所をかしや



〒794-0101
愛媛県今治市玉川町
三反地甲217-28
電話・FAX0898-55-3976(兼用)
<http://wokasiya.jp/>

⑩⑤麦の穂

障がいがある人の自立支援をしながらパン作りをし、予約販売や移動販売をしている。店頭には常時20種～30種のパンが並んでいて、どのパンも本当においしい。特にパンの生地に深みがあり、いくつでも食べられる。また年に1回パン祭りを開催、多くの人たちで賑わう。地元の各イベントにも参加している。



〒794-0104
愛媛県今治市玉川町
摺木力ハラ甲6-4
電話0898-55-3893



自然体験・環境教育・ワークショップ・指導者養成など、さまざまな『体験』を提供する事業所。玉川町内では、森のようちえんや、鈴川渓谷での自然体験などを実施している。



【九和】 摺木

⑩⑦ 九和小学校のユーカリ



九和小学校の校門横にユーカリの大木があり、小学校のシンボルとなっている。ユーカリは言うまでもなくオーストラリア原産で、コアラが葉を食べることでも知られている。しかし、ユーカリが500種類以上もあることはあまり知られていないでは…。しかもコアラは、そのうちの数十種の新芽しか食べないらしい。ユーカリは非常に成長が早く、大木となる現地では70mを越えるものもあるという。

九和小学校のユーカリは目通り2.85m、樹高15m。これでもかなりの大木だ。

ユーカリは桜井小学校にもあり、こちらの方が大きく樹高38mもある。明治34年に1.7mの苗木が植えられたと記録されている。

九和小学校のものも同じ時期に植えられると思われる。環境によって成長が大きく異なったのではないかと言われている。

ユーカリの木の横に看板が立てられている。
学校の位置をしめす



⑩⑧ 玉川総合公園

通称“グリーンピア玉川”と言われて
いるが、グリーンピア玉川は体育館の
名称で、グランドから万葉の
森を含めた全体を「玉川総
合公園」と言う。郷土出身の実
業家で、玉川近代美術館を寄贈
した故徳生忠常氏からの資金援助
もあり、平成2年に竣工した。

当初、町は徳生氏の銅像を立てようとした
が、本人より固辞され、徳生ひろばという名前のみ石
に刻まれた。碑文には「商イハオ寄サント共ニ榮工、利
運ノ財ハ社会ニ還元スル」とある。

多目的体育館であるグリーンピア玉川は様々なイベ
ントや講演に利用されており、著名人の講演も度々行
われている。



グリーンピア玉川



徳生ひろばと名づけられた。

⑩⑨ 玉川総合公園 万葉の森



万葉集には大変多くの植物の名前が出てくる。
玉川町内にはその万葉植物が多く自生していくそ
れらを移植し、育て、万葉の森をつくった。
民間のボランティアの力もあり、今では四季おり
おり花が咲き、多くの野鳥がつど森となっている。
今も発展途上で、新しい植物が植えられたり絶え
ず整備されている。心地よい遊歩道があり、歌に詠ま
れた植物を見ながら散策できる「ースとなつていて」。

【九和】与和木

⑪ お地蔵さん

与和木のお地蔵さんは、府中（旧今治藩）八十八ヶ所第六十番札所で

地蔵菩薩と弘法大師をお祀りしている。

地蔵菩薩は錫杖を持つた立像で大変美しい。

また、ここは中村の医王寺の分院となっている。境内にはヒイラギの古木があり、葉にとげがなく滑らかな橈円をしている。若芽にはとげがあるのでヒイラギに間違いない。年をとると人間だけでなく植物もまるくなるのか？



葉が円いヒイラギの古木



美しい地蔵菩薩像



府中第六十番札所のお地蔵さんは下のコンクリート壁に、お地蔵さんが祀られている。

現在は立派な二車線の道路になつていて、旧道は崖が迫り出していたため、交通の難所となつて、怪我人等が多く出たので、通行人の安全を祈つて、お地蔵さんが祀られたとのことで、現在でも地主さんをお祀りしている。

⑪ 岩鼻のお地蔵さん



⑪ 重茂山城跡

じゅうもさん



頂上から大西町の造船所が見える。



頂上付近に3つの祠がある。

天正13年（1585）に豊臣秀吉の命をうけた小早川隆景の侵攻によって落城したとされる。越智郡の中世城郭で唯一、畝状堅堀の遺構が見られる。



⑪ 三嶋神社

道路から左手に見えるこんもりとした森

は三嶋神社。境内には、モッコクやシャンパンボの古木があり、鎮守の森は、アラカシ・スギ・ヒノキなどの高木が茂っている。なぜか鳥居の前にバナナの木がある。

与和木三嶋神社は天平年間（729～745）に河野氏によって創建された。当初は四郎大明神、城大明神と呼ばれていたが、慶長9年（1604）三嶋神社と改められた。しかし、安政5年（1858）にできた鳥居には四郎大明神と刻まれている。

【九和】鍋地

(114) 開中塚大権現（開さん）



鍋地からお釈迦さんへの登り口よりも少し奥。左手斜面を上ると竹やぶの中にこんもりとした塚があり、その上には10基ほどの五輪塔がある。室町時代から戸戸代初期にかけてのものか。長宗我部元親が攻めてきた際に戦死した武将をお祀りしたと伝えられている。あるいは秀吉の四国攻めの際のものとも考えられる。お堂は、昭和初期に建てられたもので新しい。五輪塔のある塚の上に上がるとお腹が痛くなるといわれている。

この辺りの竹やぶは非常に美しい。



(116) 四良神社



鍋地から釈迦堂への上り口にある。大宝元年(701)に大三島の大山祇神社から勧請された。その後寛永6年(1629)殖産に偉功のあった河野四郎為世の靈を迎えて合祀し、四良神社という社名となつた。明治時代に一村一神社と定められた際に多くの神社が合祀されている。社殿の裏にはヤブツバキの大木が多くあり、春先に花を咲かせる。

府中第59番霊場、曹洞宗杉尾山宝林寺。本尊は薬師如来。本堂は昭和54年に建てられたもの。釈迦堂を中心として栄えた七宝寺の一つで、曹洞宗のお寺になったのは約400年前。七宝寺のうちの四寺は鎌倉時代初期に焼失したものとされ、現在この宝林寺と桂の宝藏寺・法界寺の宝積寺の三寺が残っている。

4月8日花まつりの日、釈迦堂の釈迦如来像が開帳される日には地元の方たちによってお接待がある。



(115) 宝林寺

(117) 虫の里

鍋地ホタルの里づくりは、住民の有志と九和小学校児童によって総合学習の一環として取り組まれた。

鍋地川の草刈り等ホタルの生息しやすい環境づくりと共に、ホタルの餌となるカワニナの増殖やゲンジボタルの幼虫の放流を行つた。

その甲斐があつてホタルの住みぐるみとなって、6月初旬には多くホタルを見ることができる。

【九和】鍋地・桂

(118) お釈迦さん



かつら

鍋地と桂にまたがる山（標高339m）は、釈迦山・蓬萊山・法華山など、仏教にまつわる様々な呼び名がついている。この山頂少し下にある釈迦堂には、国重要文化財の木造釈迦如来立像（宝藏寺管理）があり、4月8日の花まつりにはご開帳してお祝いしている。

釈迦堂は、寺伝によると推古朝の時代に地元の有力豪族・越智益躬が創建したといふ。本尊の釈迦如来像は像高163cmで材質は栴檀の木でできている。昭和14年に解体修理を行った際、胎内から文永5年（1268）の墨書銘が見つかり、大江氏が先祖供養のため発願し、仏師・薩摩法橋興慶に本像を造らせたことが分かった。京都嵯峨の清涼寺式の像といふ。

これを納める厨子も材質は栴檀の木で、棟札から正徳5年（1715）に造られたことが分かる。厨子と棟札、および元禄15年（1702）に建立された現在の釈迦堂本堂は、いずれも市指定文化財である。本堂は当初瓦葺きだったが、天保14年（1843）に茅葺きとなり、昭和34年に銅板葺きに改修されて現在に至る。

平安朝頃は、7寺院12坊を從え壮大に栄えていたようだ。しかし、平将門の乱をきっかけに衰退していった。今治藩主松平定陳公の再建もあって、江戸時代中期頃から盛んになつた。



イロハカエデの巨木



ボダイジュは昭和38年玉川町天然記念物に指定



桂木神社横のナギノキ



双子のイチヨウ

(119) 釈迦堂の森

釈迦堂の森は、少なくとも300年以上（元禄15年の釈迦堂再建以降）は木々が伐られていないと推測される。境内を見るだけでも多くの大木、老木が残つていて貴重な存在である。

ボダイジュは目通り約150cm。イロハカエデの老木は見たこともないほど太く、いびつな形をしている。巨大なイチョウは仲良く2本並んでいる。ムクノキ・クスノキ・エノキ・ヒノキ・桂木神社の横には大きなナギノキがある。その他ウラジロガシ・コガノキ・バリバリノキ・イヌガシ・カクレミノ・シデザクラ・ヤブツバキ・アラガシ・カツラなど、どの木も大きく風格がある。玉川では檣原山について巨木・古木の宝庫である。主な木々には、名前の札が下げられている。

【九和】鍋地・桂

(120) お不動さん



展望所からは、玉川・今治市街が一望できる。



崖の上に祀られているお不動さん



ここから右へ行くとお不動さん。左上が蓬莱さん

お不動さんは、釈迦堂から北側にまわった崖の上に祀られている。途中展望所があり、玉川町から今治まで素晴らしい眺望が広がっている。またソメイヨシノの巨木があり花見の穴場でもある。ここから少し歩くと左上に石に彫られた不動明王の像が祀られている。比較的新しい石造物だが、健康長寿のご利益があると言われている。



蓬莱さんは宝篋印塔のすぐ横に祀られている。



頂上の宝篋印塔(県指定文化財)



頂上の宝篋印塔は花崗岩製で、塔身正面月輪内に種子キリーケを刻む。総高144cmで、鎌倉時代後期のものと考えられる。それほど距離はないが、健脚が求められる。

このそばに蓬莱さんがあり、古事来歴などはわからないが、鍋地地区で毎年「お当さん」をしてお祀りしている。

頂上の宝篋印塔は花崗岩製で、塔身正面月輪内に種子キリーケを刻む。総高144cmで、鎌倉時代後期のものと考えられる。それほど距離はないが、健脚が求められる。

桂からは登山口に釈迦堂へ十四丁といふ碑があり、こちらも飛び飛びではあるが多く残っている。

頂上までの距離は片道1200mほどでハイキングコースとしてちょうどよい。

釈迦堂への参道は、鍋地・桂・御厩かの3通りあつたが、御厩の参道は今はほとんど使われていない。

鍋地、桂からの参道は、やつと車が通行できる広さで急坂が続く。

かつては歩くためだけの道できちんと丁石が距離の目安として設置されていた。今も、すべてではないがいくつかの丁石が残っている。鍋地からの道を注意深く歩いてみると、十一丁から二丁まで(くつつかとんでいるが)見ることができる。

(121) 釈迦ヶ岳の宝篋印塔と蓬莱さん

(122) 釈迦堂参道の丁石

【九和】桂

〔123〕桂木神社



〔124〕天満神社



桂から釈迦堂へ登つてみると、途中に鳥居がある。釈迦堂はお寺になつたのである。天満神社の鳥居は、やはり釈迦堂に向いて建つてある。

桂木神社、四良神社とともにお釈迦さんの守り神だったのだと推測される。



お釈迦さんの山には、鍋地側に四良神社、桂側に天満神社があり、釈迦堂のすぐ横にこの桂木神社がある。
どれも釈迦堂の方向に向かつて建てられている。東か南向きの神社が多い中、明らかに方向の違う釈迦堂に向いている。お釈迦様を守るための神様として建てられたと推測される。

桂木神社の祭神は桂木男神、桂木女神、一言主神 清磨神、苅田磨神。

持統4年(689)創祀、清磨神、苅田磨神は寛政元年(1789)勧請した。

〔125〕宝蔵寺



昭和11年に釈迦如来像が国宝に指定された時から、釈迦堂を管理するようになった。

永平寺を本山とする曹洞宗のお寺で、今治市室屋町にある隆慶寺から分かれたものらしく、隆慶寺6世一空卓蒲大和尚が宝蔵寺他多くの寺を開山したのが1600年代。もともとは、宝林寺とともに釈迦堂近くにあったようだ。

現在の地にはいつごろ移ったか定かではないが、寛政8年(1796)伽藍を新建立した際に移転したと推測される。現在の本堂は昭和35年に建てられたもの。

〔126〕お釈迦さんと花まつり



2500年ほど前の4月8日はお釈迦様がお生まれになった日で、花まつりと呼ばれている。玉川の釈迦堂でもこの日をお祝いする。町内外から多くの人たちが釈迦堂へお参りをする。また地元の人たちによつてお接待がある。

そんな花まつりの日を紙芝居にして伝えている。



〔127〕だまされたなにわ節言い

真っ暗な新月の夜、桂部落の山道を通りかかつたなにわ節言いが大きな化けものに出会い、そこを通じて下さいと頼んでも頭をよくに振つて通してもらえなかつた。なにわ節を語るから通してほしいと言うと頭をたてに振つた。こうしているうちに結局夜が明けてしまい、ばけものの正体がわかつたというお話。

紙芝居にして伝えていく。

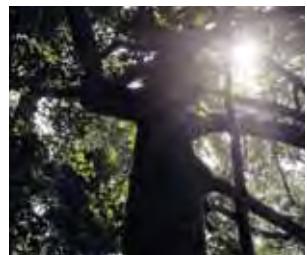
〔九和〕御厩・長谷

〔128〕御厩の棚田

御厩（みまや）と読む。江戸時代までは御馬屋村だつたらしい。この地が今治藩の馬の牧場であつたことから御馬屋と呼ばれていたようだ。桂、鍋地、与和木よりも先にここが開けたことが宝蔵寺の過去帳から推測される。谷あいに作られた棚田はすばらしい。田植えで水を張つた季節は特に美しい。



〔129〕天満神社



御厩の民家が途切れることに天満神社はある。山側に急な石段があり、そこを上る。祭神は大山積命・大己貴命・菅原道真。深い鎮守の森は、古い大木が多く残っている。

〔130〕長谷発電所跡



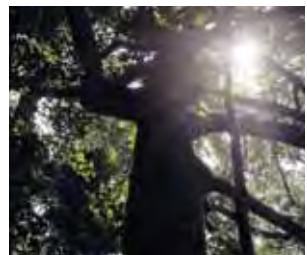
長谷の蒼社川の河川敷にあり、本殿はまつすぐに権原山に向かつている。
敷地内には長谷発電所の遺構がある。
祭神は、大山積神。神龜5年（728）聖武天皇の勅詔によつて勧請した。
境内には多くの古木があり、特にルリノキはたいへんめずらしい。

〔128〕御厩の棚田

御厩（みまや）と読む。江戸時代までは御馬屋村だつたらしい。この地が今治藩の馬の牧場であつたことから御馬屋と呼ばれていたようだ。桂、鍋地、与和木よりも先にここが開けたことが宝蔵寺の過去帳から推測される。谷あいに作られた棚田はすばらしい。田植えで水を張つた季節は特に美しい。



〔129〕天満神社



御厩の民家が途切れることに天満神社はある。山側に急な石段があり、そこを上る。祭神は大山積命・大己貴命・菅原道真。深い鎮守の森は、古い大木が多く残っている。

〔130〕長谷発電所跡



長谷の蒼社川の河川敷にあり、本殿はまつすぐに権原山に向かつている。
敷地内には長谷発電所の遺構がある。
祭神は、大山積神。神龜5年（728）聖武天皇の勅詔によつて勧請した。
境内には多くの古木があり、特にルリノキはたいへんめずらしい。

愛媛県で2番目にできた水力発電所。明治40年（1907）11月に竣工した。

最初の水力発電所は、松山の湯山発電所で明治36年1月竣工している。

長谷発電所跡は、長谷の三島神社内にその水路・水槽の跡が残つている。落合橋の少し上の取水口（P.14参考）から水を引いて水槽でためた水を鉄管で落とし発電していた。出力は180kw。有効落差は約18.5m。本館は木造平屋だつた。大正9年（1920）6月に鈍川発電所が出来たことにより役目を終えたようだ。

【九和】 長谷

(132) 大師堂



長谷のクラブ前といふバス停から少し上がったところにある。平成2年12月に再建されたもので府中第57番札所。お祀りしているのは大通智勝如来(釈迦の先生)、弘法大師、聖観世音菩薩。

境内には伝・隠れキリストian碑、五輪塔、地蔵姿の堂守の墓がある。堂守の墓には教え子達の名前が刻まれている。

(133) 地蔵堂



大師堂へ上がる石段の上り口に祀られている。毎年8月20日に盆踊りが行われていた。



厳島さんは龍岡と鈍川への分かれ道の左手方に建てられている。
以前は集会所としても使われていた。その奥に江戸時代の五輪塔がある。

(135) 嶩島さん・五輪塔



(136) 観音堂

観音堂は玉川ダムから分かれて建てられた。ここも集会所として使われていた。



祀られているのは薬師如來で、秘仏となっている。府中第56番札所。境内には堂守の墓があり、奥の山の中には鎌倉時代のものとされる五輪塔がある。

この薬師堂にお参りする道が以前は七曲に曲がっていたため七曲薬師と言われている。現在も、地元の人によつて手厚く祀られている。

(134) 七曲薬師



【九和】長谷

(137) 玉川ダム下



(138) 森の炭工房



玉川ダムのすぐ近くに、炭焼きをしている工房がある。どんどん増える竹を有効利用しようと、主に竹炭を焼いている。竹炭は防虫・脱臭・遠赤外線による温熱効果があり、装飾品としても多く利用されている。

愛媛県今治市玉川町長谷乙3-1
〒794-0109

長谷横山からダムの真下に行くことができる。ダムの住所は龍岡下鍛冶屋。ダムの高さは56m、長さ260m、総貯水量990万m³。玉川ダムは治水、農業用水、上水道、工業用水といった多目的のダムとして昭和46年に完成した。蒼社川は昔から数多く洪水による災害を起こしている。また逆に干ばつによる被害もあった。今治市の人口増加、タオルなどの工業用水の需要などそれらを解決するためにつくられた。その後も水害や渇水はあったが、ダムがなければもっとひどい災害となっていたと思われる。今後は町水力のある森林の保全と育成が大切だと考えられる。



(139) サン・カフェ

民家を改装してつくられたカフェ。国道317号長谷から高野に出る途中にある。家庭的なランチが人気。フレーク、スイーツも手作り。カフェの周りには桜が咲く。

〒794-0109
今治市玉川町長谷甲969-4
電話090-8693-3349
定休日火曜 第1・3土曜
営業時間 11時～17時

〒794-0109
愛媛県今治市玉川町
長谷甲1060-1
電話0898-55-4350
定休日 水曜日
営業時間
9時～17時半

マクロビオティックカフェ。有機玄米・全粒穀物・豆・野菜・海藻を使った季節のお料理が出される。玄米菜食ランチが人気で、おいしく健康的。コーヒーはオーガニック、紅茶は無農薬、卵・乳製品・砂糖を使わないスイーツ。2階ではイベントなどが開催される。



(140) カフェ・マグノリア

〔九和〕MAP

N
4





この冊子に掲載されている情報は、青井三郎氏著「玉川ウォッチング」を手がかりに、氏と共にスタッフが歩いてひとつひとつ取材してまわった2013年春現在の玉川です。玉川町のホームページ「玉川ねっと」と連動して情報発信しています。歩く度に、玉川の風景がとてもいとしくなりました。あなたもぜひこの冊子を片手に玉川を体感してください。そして冊子に掲載されていない町の魅力を発見したら、ぜひ私たちにお知らせください。お待ちしています。

今治市役所玉川支所内 玉川地域活性化推進協議会事務室

〒794-0101 愛媛県今治市玉川町三反地甲10-1

TEL・FAX 0898-39-1209

「玉川ねっと」<http://www.tamagawa-net.jp/>

e-mail info@tamagawa-net.jp

印刷 第一印刷株式会社

